

1992年度

# 主 要 業 務 報 告

大田直轄市 消防本部

## 報 告 順 序

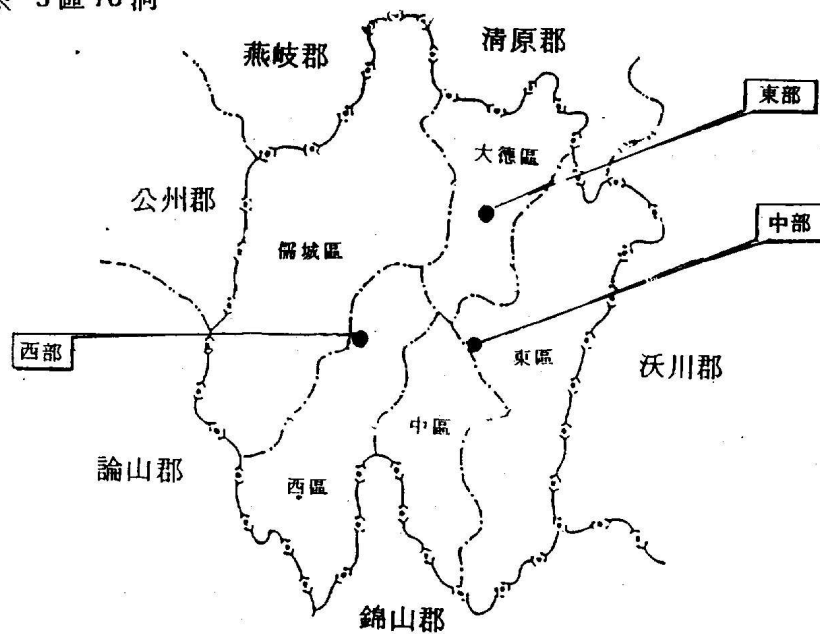
- 一 般 現 況
- 指 示 事 項 實 踐
- '91 主 要 業 務 實 績
- '92 主 要 業 務 計 劃
- 特 殊 施 策

# 一 般 現 況

管 轄
-----

消 防 署	消防官派出所	面 積	人 口	世 帶 數
3 個 署	14 派出所 1 救助隊	539.32 km	1,062. 千名	262 千世帶

※ 5 區 76 洞



## — 消 防 上 與 件 —

## ○ 氣 象

四季節風速：平均 2 m / Sec (서울 2.5)  
 冬節期濕度：平均 70 % (서울 69)

## ○ 都市構造

木造建物地域殘存：大洞，大寺洞，龍頭洞 (3 個洞)  
 車輛增加交通混雜：元洞，銀杏洞，中洞 等  
 新市街地開發：屯山洞，研究團地，第3工團 等

消 防 力
-------

## ○ 人 員

計	消 防 職			非 消 防 職		
	小 計	國 家	地 方	小 計	技能職	雇 傭 職
411 名	403	16	387	8	8	

## ○ 裝 備

計	消 防 車											行 政 車			
	小 計	汎 用 車	물 탱 크 車	高架 사다리 車	屈折 사다리 車	化 學 車	照 明 車	多 目 的 車	救 助 工 作 車	巡 察 車	指 揮 車	救 急 車	小 計	乘 用 車	診 斷 車
66 台	60	27	3	2	3	5	1	1	1	4	4	9	6	4	2

## ○ 用 水

計	消 火 栓	貯 水 槽	給 水 塔
805 個所	622	96	87

## ○ 通 信

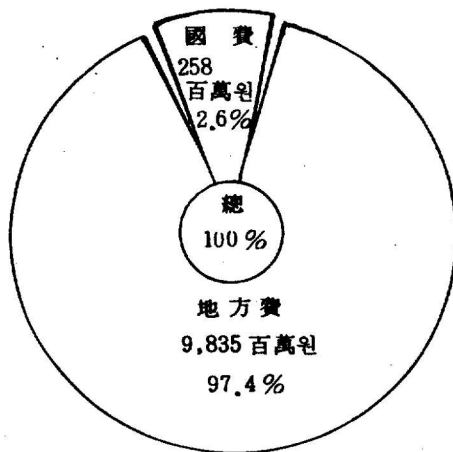
計	電 話 機				無 電 機			
	小 計	119	行 政	一 般	小 計	移 動	携 帶	基地局
274 台	140	28	67	45	134	62	67	5

## 消 防 豫 算

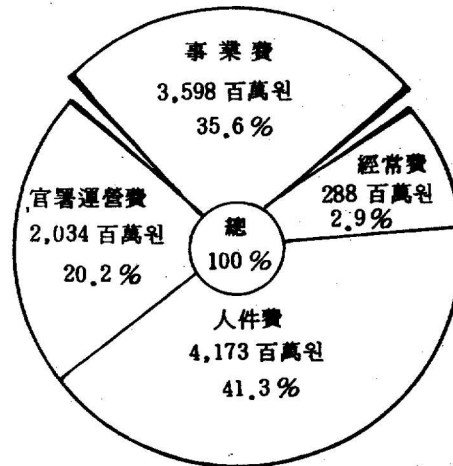
10,093 百萬圓

國費 — 258 百萬圓, 地方費 — 9,835 百萬圓

。財 源



。構 成



※ 消防共同施設税 ————— 3,100百萬圓 (91 對比 34.8%増)

消 防 對 象 物
-----------

## ○ 特 殊 場 所

區 分	計	公 演 場 ・ 集 會 場	市 場 ・ 百 貨 店	烹 飪 ・ 旅 館	病 院 ・ 醫 院	學 校	工 場	事 業 場	飲 食 店	共 同 住 宅	複 合 建 物	其 他
計	6,296	59	83	587	247	184	744	931	1,413	980	265	803
一般	5,425	16	42	550	232	15	593	795	1,412	872	204	694
訓練	871	43	41	37	15	169	151	136	1	108	61	109

## ○ 高 層 建 物

計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15層 以上
2,272棟	904	854	63	30	29	16	48	4	43	55	10	216

※ 11層以上 328棟

## ○ 危 險 物 製 造 所 等

計	製造所	注 油 取 扱 所			販 賣 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 量 取 扱 所
		小 計	營 業	自 家			
1,951	5	108	72	36	110	1,396	332

## 火災發生現況

### ○ 發生趨勢

區 分	'87	'88	'89	'90	'91
發生件數	229 件	272	307	328	409
人命被害	29 名	47	33	42	39
財産被害	182,468 千円	82,772	359,945	270,935	688,601

### ○ 火災狀況 ('91)

區 分	發生 內 容				人 命 被 害			被害額 (千円)	燒失 內 容	
	計	失火	放火	其他	計	死亡	負傷		棟數	面積(㎡)
'90	328	204	25	99	42	12	30	270,935	199	15,813
'91	409	227	34	148	39	11	28	688,601	265	11,843

### ○ 原 因 別

區 分	計	電氣	담배	불티	暖爐	油類	放火	아궁이	가스	불장난	其他
'90	328	103	22	9	17	12	25	6	10	23	101
'91	409	111	36	11	32	3	33	3	8	37	135

### ○ 處 種 別

區 分	計	工場	店舗	車輛	飲食店	旅館	市場	住宅	호텔	教會	倉庫	其他
'90	328	26	17	65	24	8	0	84	2	2	4	96
'91	409	56	30	73	15	9	1	109	1	1	7	107



## 市 長 指 示 事 項 實 踐

□ 指示內容 및 推進事項

- 指示：9 件 (完了 7 , 推進中 2)

連番	指 示 內 容	推 進 事 項	備考
1	災難對備 總點檢	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 非常 連絡網圖 整備</li> <li>◦ 裝備檢閱 實施</li> </ul>	完 了
2	119 救急車 活用對象者에 對한 關心 表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 署長 書翰文 發送</li> <li>◦ 設問調查 實施</li> </ul>	"
3	市場火災對策 講究	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 消防用水施設 一齊 調查</li> <li>◦ 消火栓 配管 整備</li> </ul>	"
4	겨울철 消防點檢 實施	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 地下遊興業所 消防安全 點檢</li> <li>◦ 公共建物 消防安全 點檢</li> </ul>	"
5	消防教育 및 弘報 強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 官公署, 學校等 消防教育 實施</li> <li>◦ 班常會 活用 住民弘報 強化</li> </ul>	"
6	有關機關과의 消防裝備 協調體制 維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 既存應援協定 締結 軍部隊 整備</li> <li>◦ 헬기應援協定 締結</li> </ul>	"
7	越冬綜合對策 推進 徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 불조심生活化 運動 展開</li> <li>◦ 火災鎮壓態勢 確立</li> </ul>	"
8	消防樂隊의 補強 活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 消防樂隊 補強 ( 15 人組 )</li> <li>◦ 消防樂隊 活用 公文 發送</li> </ul>	推進中
9	消防不條理 豫防	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 制度改善 推進</li> <li>◦ 司正意志 擴散 및 監察 活動 強化</li> </ul>	"

## '91 主 要 業 務 實 績

## □ 消防力 補強

### 消防活動基盤 構築

- 民主消防行政具現 ——— 信賴받는 住民便宜行政
- 消防需要對處 ——— 消防力分散配置

### ○ 官署增設

- ・ 東部消防署 新築 [ 地 : 1,122 坪  
(法洞派出所) [ 建 坪 : 763 坪

### ○ 消防人力 增員 : 69名

- ・ 東部消防署 : 29名
- ・ 法洞派出所 : 40名

### ○ 裝備補強

- ・ 消防車輛 : 6臺
- ・ 通信裝備(無電機) : 16臺

### ○ 水利施設補強 : 25個所

- ・ 消 火 栓 : 13個所
- ・ 貯 水 槽 : 5個所
- ・ 給 水 塔 : 7個所

## □ 消防要員の精銳化

### —— 科學的인 消防作戰遂行 ——

- 消防與件多樣化      ——      專門力量培養
- 消防作戰現代化      ——      教育訓練強化

#### ○ 消防學校 教育：29 回 105名

- ・ 基本教育：14回 62名
- ・ 專門教育：14回 41名
- ・ 特別教育：1回 2名

#### ○ 海外研修：4回 7名

#### ○ 監査實務者教育      ：3回 3名

#### ○ 統一研修、日語課程：2回 2名

#### ○ 職場教育 訓練：31回 7,886名

- ・ 精神教育：12回 3,876名
- ・ 職務教育：19回 4,010名

#### ○ 實技實習 訓練

- ・ 大型對象合同訓練：29回 32個所
- ・ 高地帶合同訓練：8回 8個所

## □ 自律公職紀綱 確立

### 信賴받는 消防像具現

- 不條理自律追放 ————— 公職風土刷
- 權威意識拂拭 ————— 한 家族運動

## ○ 公職紀綱確立

- ・ 精神教育
  - 召集教育 : 6回 985名
  - 自體教育 : 137回 2,762名
  - 民願擔當者教育 : 4回 43名
- ・ 見聞報告 : 11回 22名
- ・ 監察活動 : 488回 488個所
- ・ 官署長公翰文發送 : 4回 331個所

## ○ 士氣振作

- ・ 有功者 및 優秀官署表彰 : 4回 42名
- ・ 試驗 및 審査昇進 : 63名
- ・ 生日케익傳達 : 411名
- ・ 不遇職員돕기 : 4名

## □ 불조심生活化

### —— 市民警火意識鼓吹 ——

- 火災原因分布 ——— 適時弘報強化
- 弘報技法啓發 ——— 全市民 消防要員化

#### ○ 消防弘報 活性化

- ・ 매스컴 弘報 : 549 回 (TV, 라디오, 新聞等)
- ・ 班常會 弘報 : 12 回 46,406名

#### ○ 消防組織의 弘報要員化

- ・ 義勇消防隊 : 37 回 7,077 名
- ・ 自律消防隊 : 65 回 7,455 名
- ・ 請願消防員 : 5 回 360 名
- ・ 防火管理者 : 6 回 1,455 名
- ・ 어린이消防隊 : 13 回 4,537 名
- ・ 危險物取扱主任(者) : 6 回 1,614 名

#### ○ 職場, 社會團體 巡廻教育

- ・ 對象數 : 5,930個所
- ・ 弘報教育 : 32,516名

## □ 大型火災要因의 根源的除去

### —— 民意에 密着된 行政具現 ——

- 爲民業務最善 —— 誠實・責任
- 對民姿勢刷新 —— 親切・奉任

### ○ 脆弱對象 消防安全指導

- ・ 合同精密檢査 : 16回 550個所
- ・ 幹部公務員 現地指導 : 675回 6,341名
- ・ 脆弱地域 機動巡察 : 3,332回 6,298名

### ○ 自律的 防火管理

- ・ 消防安全教育 : 20回 7,370名
- ・ 防火管理者 實務教育 : 4回 765名
- ・ 消防合同訓練 : 55回 66個所
- ・ 電話確認 連動制運營 : 77個所 4,949回

### ○ 日日點檢表 運營

- ・ 退廳・撤市時點檢 : 77個所
- ・ 作業終了點檢 : 255個所



## □ 對民 奉仕行政 具現

### —— 危害要因 事前除去 ——

- 合理的 安全指導 —— 脆弱對象 重點管理
- 自律的 防火管理 —— 自律點檢 是正

### ○ 消防對象處 安全診斷

- ・ 點檢整備 : 141回 8,631個所

### ○ 故障消防施設修理

- ・ 修理個所 : 1,564個所 2,957件

### ○ 家庭消火器貸付 運動展開

- ・ 一般市民 : 5,518臺
- ・ 公職者 : 754臺
- ・ 零細民村支援 : 60臺

### ○ 救急患者 移送

- ・ 移送件數 : 4,755件
- ・ 移送患者數 : 4,872名

※ 當直病院 案内 : 111,459件

## □ 火災 鎮壓態勢 確立

### 迅速對應態勢 構築

- 初期鎮壓態勢確立 —— 大型火災根絶
- 被害の極少化 —— 火點進入 初期鎮火

### ○ 迅速한 出動體制定着

- ・ 現地出動訓練 : 27回 484名
- ・ 圖上訓練 : 2,171回 22,000名
- ・ 不時假想訓練 : 44回 530名

### ○ 各種災難時 支援

- ・ 山火出動 : 44回 749名
- ・ 가스除毒 : 34回 99名
- ・ 給・排水支援 : 12回 33名
- ・ 交通事故 : 36回 136名

## □ 消防關聯組織 能力向上

### —— 自衛消防能力 極大化 ——

- 消防關聯組織育成 —— 火災初動措置能力向上
- 準消防力士氣振作 —— 自律防災體制確立

### ○ 組織補強

- ・ 義勇消防隊： 30隊 714名
- ・ 職場自衛消防隊： 815隊 81,932名
- ・ 地域自律消防隊： 76隊 2,942名
- ・ 어 린 이 消防隊： 81隊 6,724名
- ・ 請願消防員： 20個所 111名

### ○ 初動措置能力培養

- ・ 實戰適應訓練： 48回 11,276名
- ・ 消防戰術競演： 3回 438名

### ○ 士氣振作, 職務意慾 鼓吹

- ・ 義消防隊子女獎學金支給： 2回 45名
- ・ 産業視察： 1回 37名
- ・ 懇談會： 13回 557名
- ・ 表彰： 2回 52名
- ・ 體育大會： 1回 631名

## '92 主 要 業 務 計 劃

## '92 重 點 業 務

### ＜施 策 方 向＞

自 律 消 防 力 量 の 提 高

### ＜重 點 事 業＞

1. 奉 仕 消 防 行 政 具 現
2. 生 活 消 防 の 定 着
3. 産 業 施 設 防 火 管 理 の 内 實 化
4. 鎮 壓 態 勢 の 強 化

## 1. 奉仕消防行政 具現

### 1-1 消防力 補強

- 消防需要増加에 따른 基本 消防力 確保
- 科學消防行政 構築으로 最善最大의 奉仕

#### ○ 官 署 增 設       ： 3個官署

- ・ 消 防 署       ： 1個署(北部消防署)
- ・ 派 出 所       ： 2個所(道龍, 工團派出所)

#### ○ 人 力 增 員       ： 113名

- ・ 官 署 新 設   ： 89名
- ・ 救急・救助隊補強： 19名
- ・ 消 防 樂 隊 補 強： 5名

#### ○ 裝 備 補 強

- ・ 消 防 車       ： 6台(高架車, 펌프車等)
- ・ 無 線 裝 備   ： 6台

#### ○ 水 利 施 設 擴 充   ： 63個所

- ・ 消 火 栓       ： 29個所
- ・ 貯 水 槽       ： 6個所
- ・ 給 水 塔       ： 28個所

## 1-2 消防行政機構 補強

- 急激히 增加하는 消防需要에 맞는 機構 補強
- 圓滑한 業務遂行으로 奉仕消防體制 構築

### ○ 消防行政機構 補強

- ・ 消防本部 消防行政課 教育係 新設( 3名)
  - 消防公務員 教育業務 및 消防行政企劃機能 遂行
- ・ 消防本部 防護課 指導係 및 消防署 指導係 新設
  - 科學的인 消防檢査 指導 및 弘報業務 遂行
  - 増 員：本部3名, 署別 各1名

### ○ 救急 ・ 救助隊 補強

- ・ 救急 및 救助隊 統合運營
- ・ 隊長職級 上向調整(消防尉 → 消防警)
- ・ 西部消防署 救急・救助隊 新設
  - 裝備：3台(救助車1 , 救急車2 )
  - 隊員：19名 (隊長, 班長4 , 救急隊員6 , 救助隊員8 )

## 1-3 消防要員の 精銳化

- 専門人力 養成으로 消防與件에 能動的 對處
- 最善最大 奉仕를 爲한 教育訓練 強化

### ○ 消防學校 教育 : 124名

- ・ 基本教育課程 : 14個班 70名
- ・ 専門教育課程 : 8個班 50名
- ・ 特別教育課程 : 2個班 4名

### ○ 職場教育訓練 強化

- ・ 消防戰術教育
- ・ 消防實技訓練
- ・ 開發裝具熟達訓練
- ・ 體力鍛鍊

### ○ 新規任用者 職場適應訓練 強化

- ・ 精神・素養教育
- ・ 消防裝備 操作訓練等

### ○ 國外研修訓練 擴大 實施



## 1-4 消防公職紀綱 確立

- 親切奉仕로 信賴와 고마움을 느끼는 消防像 定立
- 信賞必罰의 確行으로 民主的 行政風土 定着

### ○ 消防官署長 責任下 非違 ・ 不條理 剔抉

- ・ 幹部公務員부터 率先垂範姿勢 定立
- ・ 自體 不條理 告發體系 限時的 運營
- ・ 非違公務員 淘汰劣圍氣 擴散

### ○ 自體 監査機能 強化

- ・ 綜 合 監 査：年1回
- ・ 部 分 監 査：分期1回
- ・ 服 務 監 査：月1回以上(不時 非露出 監査)

### ○ 職員 士氣昂揚策 講究

- ・ 嚴正한 人事 및 信賞必罰의 確行
- ・ 不必要한 待機勤務 止揚
- ・ 體力鍛鍊施設等 利用施設의 擴充
- ・ 官署長 辦公費 및 各種 旅費・手當 現實化
- ・ 親睦圖謀를 爲한 體育大會等 行事 積極 實施

## 1-5 119 救急救助隊 奉仕活動 強化

- 救急・救助隊 補強으로 奉仕體制 確立
- 專門人力育成 確保로 現場對應能力 向上

### ○ 奉仕機能의 効率化

- ・ 119救急・救助隊 補強(西部消防署)
- ・ 多目的 救助車 購入
- ・ 救急・救助隊 統合 運營

### ○ 現場對應能力 向上

- ・ 現場 應急處置能力 強化
- ・ 專門人力 育成 確保

### ○ 隊員教育 訓練 強化

- ・ 實技・實習爲主의 專門教育 實施
- ・ 專門機關 委託教育 實施

### ○ 各種 災難 積極支援

- ・ 風水害, 旱魃給水, 山火, 建物崩壞, 溺死, 交通事故, 除毒等 市民 不便事項 迅速 解消

## 2. 生活消防의 定着

### 2-1 불조심生活化運動의 擴散

- 火災警戒意識과 安全管理能力 向上
- 火災事故의 徹底한 豫防으로 被害 最少化

#### ○ 報道媒體를 통한 立體的 弘報展開

- ・ 媒體-T.V , 라디오, 新聞, 班常會報等
- ・ 酷寒期 煖爐, 煉炭, 電氣等 火氣 取扱注意

#### ○ 消防關聯組織의 消防要員化

- ・ 義勇消防隊員 : 704各
- ・ 自衛消防隊員 : 58,215名
- ・ 自律消防隊員 : 2,942名
- ・ 어린이消防隊 : 6,724名
- ・ 請願消防員 : 120名

#### ○ 家庭用 消火器普及 推進

- ・ 집들이 , 開業膳物時 消火器 膳物하기
- ・ 1家庭 1消火器갖기 運動展開

#### ○ 消防樂隊를 통한 弘報

- ・ 各種 行事時 消防樂隊 參與
- ・ 自然스러운 消防弘報 實施

## 2-2 어린이 및 婦女 消防教育

- 어린이時節부터 火災豫防을 生活化하도록 教育
- 家庭主婦對象 消防教育으로 불조심 生活化 先導

### ○ 어린이消防隊 活性化

- ・ 어린이消防隊 組織整備 : 81個隊 6,628名
- ・ 示範學校 設置 擴大 : 3個隊 300名
- ・ 어린이安全教室 運營
- ・ 어린이名譽消防官 委囑 擴大
  - 家庭, 學校에서 消防弘報의 旗手로 活躍 期待 -

### ○ 婦女消防教育 強化

- ・ 婦女團體 消防教育 實施
- ・ 主婦安全教室 運營 : 分期1回
- ・ 班常會報를 통한 불조심 教育 : 每月 1回
- ・ 아파트回報, 主婦 消防常識 揭載
- ・ 幼稚園, 保育院等 職場女性 對象 火災豫防 教育

### 3. 産業施設 防火管理의 內實化

#### 3-1 大型火災脆弱對象 特別管理

- 大規模 施設에 對한 消防安全管理 體制 構築
- 大型火災의 根源的 豫防

#### ○ 大型火災 脆弱對象 重點管理 (104個所 )

- ・ 責任幹部 隨時 指導訪問
- ・ 合同(建築, 電氣, 가스) 消防檢査 年2回

#### ○ 工業團地 消防安全對策

- ・ 精密 消防安全點檢 : 年2回
- ・ 防火對策 協議會 運營 : 月1回
- ・ 工業團地 防護體制 確立 : 85個業體

#### ○ 高地帶 密集 脆弱地域 消防對策 推進

- ・ 住民消火器 設置 : 14個地域
- ・ 映畫上映等 火災豫防 弘報強化
- ・ 消防署 現地指導 : 分期 1回
- ・ 消防團 構成 運營 : 地域當 10~20名

## 3-2 自律消防體制 確立

- 民間 自律消防態勢 確立으로 自體 火災 豫防
- 初動 鎮火能力 向上으로 消防力量의 補完機能 遂行

### ○ 施設主 自律點檢

- ・ 對 象 : 303 個所

┌ 스프링클러 設置對象 : 48個所  
└ 防 火 規 定 對 象 : 255個所

- ・ 點檢 擔當者 責任點檢
- ・ 精 密 檢 查 : 年2回
- ・ 結 果 措 置 : 點檢結果 消防署長에 通報

### ○ 自體防火管理 組織強化

- ・ 自衛消防組織 整備 補強
- ・ 防火管理者의 法的 資格要件 具備者 選任配置
- ・ 防火管理者 交替選任 : 管理・監督的 職位에 있는者

### ○ 民間 自律團體 委託點檢 : 消火器 設置對象

- ・ 對 象 : 464 個所(料食, 理美容, 茶房, 洗濯業協會)
- ・ 點檢回數 : 年2回

### 3-3 EXPO工事現場 消防安全對策

- 獨立記念館 建立時 火災事例을 教訓삼아
- 工事時부터 消防安全對策 講究로 火災發生要因 除去

#### ○ 現場責任幹部指定 特別管理

- 責任과 功績의 連繫 -

- ・ 1 次 責 任 : 東部消防署 大德派出所長
- ・ 2 次 責 任 : " 防護課長
- ・ 3 次 責 任 : 消防本部 防護課長

#### ○ 巡察函設置 및 消防點檢 實施

- ・ 巡察函 設置 : 主要工事場마다 設置
- ・ 定 期 巡 察 : 週 2 回以上(消防署)
- ・ 隨 時 巡 察 : 每日1 回以上(派出所)

#### ○ 巡察時 着眼事項

- ・ 鎔接作業等 火氣取扱場所 安全取扱要領 指導 및 消火器 備置
- ・ 可燃性資材 積載倉庫等에 對한 火氣團束 및 消防施設 設置 指導
- ・ 現場責任幹部 및 從事者에 對한 消防施設 使用法等 教育實施

## 4. 鎮壓態勢의 強化

### 4-1 火災鎮壓態勢確立

- 初期鎮壓態勢 確立으로 大型火災 未然 防止
- 應援協定體制 強化로 人命財產被害 極少化

#### ○ 迅速한 出動體制 定着

- ・ 對象別 事前訓練 實施
- ・ 每日 圖上訓練 實施
- ・ 個人 空氣呼吸器 補強( 10台)

#### ○ 消防情報 通信施設의 自動電算化

- ・ 消防業務 電算化 研究團 運營
- ・ 段階別 消防業務 電算化 推進

#### ○ 消防應援協定體制 強化

- ・ 應援協定機關 : 10個市・郡, 4個企業體, 7個軍部隊
- ・ 出動可能人員・裝備 : 196名 71台

計	펌프車	化學車	屈折車	헬기	其他
71 台	45	9	2	2	13



## 4-2 消防用水施設 補強

- 脆弱市場地域 消防用水施設 重點 補強
- 施設管理 徹底로 火災現場 鎮壓作戰 萬全

### ○ 元 洞 地 域：老朽 上水道管 交替(上水道本部 協助)

- ・ 交替對象：1,825m ( 1940年代 設置)
  - 地下式 消火栓 11個所 交替 併行
- ・ 交替配管：現 75~100mm配管 → 200mm 配管으로
- ・ 推進期間：'91 ~ '92 ( 2個年) 計劃으로 推進

### ○ 不足用水施設 補強：63個所(消火栓 29 ,給水塔 28等)

- ・ 消防用水施設 管理 徹底
  - 用水施設 定期 調査(月 1 ~ 2回)
  - 用水施設 管理責任者 指定
  - 迅速 補修體制 維持
- ・ 消防用水施設 保護 標識 設置
  - 地下式 消火栓 保護 黃色線 塗色
  - 用水施設 標識板 設置

## 4-3 義勇消防隊 運營 強化

- 士氣振作對策 講究 地域防災 求心組織化
- 火災脆弱地域 初動鎮火 及 消防弘報・警戒要員化

### ○ 義勇消防隊 組織 及 機能強化

- ・ 組織整備 補強 : 30個隊 780名
- ・ 全 隊員의 市政 及 消防弘報 警戒 要員化
- ・ 活動力 있는 隊員 及 幹部 確保

### ○ 消防活動 強化

- ・ 산불 及 火災時 迅速出動
- ・ 各種 災難時 支援出動
- ・ 地域單位 奉仕活動 積極參與

### ○ 士氣振作策 講究 自進參與 誘導

- ・ 懇談會 及 對話의 時間(市長, 本部長, 署長)
- ・ 市・區政 參與機會 擴大
- ・ 先進地 見學 及 產業視察 : 年2回
- ・ 競演大會 及 體育大會 開催 : 年1回

# 特 殊 施 策

## 1. 1人 1資格證갓기 運動

- 消防關聯分野 1人1資格證 取得 —— 消防專門化
- 社會發展 對應 消防의 重要性 提高 — 多樣化, 複雜化에 따른 火災豫防 萬全

### ○ 資格證 取得者 現況

計	運轉 (整備)	危險物 (化工)	高壓가스	電氣	建築	機械	其他資格
258	213	12	3	4	6	2	18

※ 消防官 403 名の 64 %

### ○ 推進 方向

- ・ 全 職員의 消防關聯分野 資格 取得
- ・ 火災發生의 多樣化에 따른 對處方案
- ・ 消防安全 專門知識 習得

### ○ 推進 計劃

- ・ 1人1資格證 取得目標 設定
- ・ 資格取得을 위한 情報 交換
- ・ 專門知識 習得을 위한 敎養
- ・ 資格證所持者 關聯部署 人事配置

다                  짐

EXPO '93 大田으로



— 消防行政    三大基調 —

- 生    活    消    防    의    定    着
- 産    業    施    設    消    防    對    策    確    立
- 奉    仕    消    防    具    現